事務局からのお知らせ

● 事業実施状況報告（5月末）

		令和４年	令和５年
会員数（人）	男	1,280	1,285
	女	458	463
	計	1,738	1,748
就業実人員（人）※		1,360	1,380
就業率（%）		78.3	78.9
受注件数（件）	公共	25	28
	民間	932	1,002
	派遣	66	24
請負契約金額（千円）		120,511	127,519
派遣契約金額（千円）		23,899	24,178

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

● パレット柏の利用

作業日報や勤務実績通知書の受取り、健康診断書の提出などは、パレット柏（地図参照）の専用窓口で対応しています。利用時間は、平日の10時から正午まで、午後１時から午後4時までとなっています。利用したときは、「会員提出書類等管理簿」に記入してください。提出書類等は、センター職員が回収します。

■ 配分金支払日

□ ６ 月分	７月 25 日（火）
□ ７ 月分	８月 25 日（金）
□ ８ 月分	９月 26 日（火）

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

ゆずりはクイズ Part56

Q1、シルバーの顔は、どなたでしょうか？

Q2、令和5年度定時総会が開催された場所は、どこでしょうか？

Q3、シルバーサロンに来場した市民の内、入会説明会参加希望者は何人でしょうか？

☆ヒント：1面、2面、4面を見てください。

◎答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは **8月10日（木）** です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。
会員番号と氏名 を忘れずに書いてください。

◎ ゆずりはクイズ　Part55 の正解
Q1 の答：「安全は、一人ひとりの心がけ、皆で守って事故は無し」
Q2 の答：「少し働き、少し学んで、少し遊ぶ」
Q3 の答：ソーシャルフレイル

応募数21通
うち正解者数
20通でした。

広報作業グループ員募集

会報「ゆずりは」の取材にご協力いただける会員を募集します。取材活動には薄謝をお支払いします。　**問い合わせ先**　広報部会担当（川口）

センター緊急連絡先　080-1293-8569

この電話は、センターの営業時間外（平日の17時以降、土曜、日曜、祝日、年末年始）の事故・怪我の発生時に対応するための電話です。

編集後記

▶令和５年５月８日より政府発表で「新型コロナウイルス感染症法上の分類」が５類に移行となりました。これにより、感染防止策として長く続いていた「マスク着用」は個人の判断となり、行動の制限が緩和されました。漸く「顔」を見ることが出来るようになりました。嬉しいですね。高校１年生になった孫は、中学生の３年間同級生の顔を見ていないのです。
▶Ｇ７首脳会談が広島市で開催されました。この会議に戦時下にあるウクライナのゼレンスキー大統領が来日し、出席しました。「核」のない世界と「平和」を１日でも早く実現する日が来る事を願っています。
【広報部会Ｋ】

ゆずりは

yuzuriha

第128号

編集・発行 令和５年７月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター
〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1
柏市保健勤労会館２階
TEL　04-7166-6681　FAX 04-7163-4150
URL　http://kashiwa-sjc.or.jp
メール kashiwa@sjc.ne.jp

目次

2P　令和５年度定期総会
3P　役員紹介
4P　シルバーサロン開催 / シルバー学び隊「振り込め詐欺撃退録音機設置作業説明会」開催
5P　シルバーの顔 / 令和５年度安全標語の表彰 / 安全だより
6P　ジョブコラム / フレイル予防 Vol.3
7P　介護サポートサービス情報第 / 33 回 SG 会開催 柏ゆずりは会からのお知らせ
8P　事務所からのお知らせ / 編集後記

シルバーの顔

高柳地区（しいの木台班）北島 浩司さん
P5をご覧ください!!

令和5年度 柏市シルバー人材センター 安全標語最優秀作品　安全は、一人ひとりの心がけ、皆で守って事故は無し

令和5年度 定期総会

6月22日㊍ アミュゼ柏クリスタルホール

令和５年度定時総会が６月22日(木)アミュゼ柏クリスタルホールで開催しました。４年ぶりに同会場にて開催された総会には、元気な会員の姿が見られました(出席会員65名、委任状等1,317名)。

冨谷理事の司会進行により、会員の誓い唱和の後、日野良英会長から「令和５年度は少子高齢化、物価の高騰、インボイス制度の導入等により、先行きが見通せない中、第４次基本計画の最終年度としてコロナ前の水準に回復すべく各種施策に取り組んでいく」と挨拶がありました。

次に、来賓の鈴木実柏市経済産業部長が「就業を通じて高齢者の社会参加を後押しするセンターの役割は、一層重要なものとなっております。今後も地域社会を支える一員として、活躍していただくことを期待しています」、円谷憲人柏市議会議長から「少子高齢化、働き手の人材不足の対策として、活力ある高齢者を増やしていくことも重要なことと考えております。高齢者の働き方、生きがいへの支援を議論していきたいと思います」とそれぞれ祝辞をいただきました。

総会は、議長に杉岡理事、議事録署名人に木下好則会員、足立幸彦会員が選出された。議案の令和４年度事業報告、令和４年度決算、理事及び監事の選任について、山口常務理事が説明を行った。宮島監事から監査報告がなされた後、報告事項として同常務理事から令和４年度補正予算、令和５年度事業計画、令和５年度収支予算書等の報告を行った。

令和５年度事業計画には、ＩＴ化の推進、会員の拡大、就業機会の拡大、安全管理の推進、インボイス対応等が挙げられている。

引き続き議案について審議され、出席会員多数の賛成により原案通り可決された。高橋副会長から閉会のことばが述べられ、総会は無事終了した。

表　彰

● 一般表彰の部

① 株式会社ツヅキ
② 公益財団法人モラロジー道徳教育財団
③ 株式会社ヤオコー
④ 株式会社マツヤマ

● 会員表彰の部

【 地域班表彰 】

① 高川清地区長(大井・大津ヶ丘地区)
② 松浦良治地区長(高柳地区)

● その他の部

【 職員表彰 】

① 和田淳子職員

◆ 退任役員紹介 ◆

今総会での役員改選により、次の方々が役員を退任されました。センター事業の発展・強化にご尽力を頂き、ありがとうございました。

- ●日野　良英 理事
- ●町田　桂子 理事
- ●薬師寺　祝 理事
- ●宮島　　敬 監事
- ●高橋　行雄 理事
- ●冨谷　多得子 理事
- ●前田　省吾 理事

役員紹介

理事
福山 一郎（ふくやま いちろう）
光ヶ丘地区
(東中新宿班)

前期理事の経験を基に、会員との交流を深め、微力ながら理事としての更なる向上に努めたいと思います。

理事
飯島 美千子（いいじま みちこ）
柏東地区
(永楽台班)

２期目になりました。コロナ禍で失われた会員同士のふれあいを大切に活動して参ります。

理事
木下 芳久（きのした よしひさ）
富勢地区
(根戸班)

会員の皆様が充実した活躍が出来るように努めて参ります。

理事
杉岡 恒男（すぎおか つねお）
柏西地区
(篠籠田2班)

会員の皆様と共に生きがいを持って、活躍出来る体制作りを目指していきますので、よろしくお願いいたします。

理事
寺田 松男（てらだ まつお）
田中地区
(花野井班)

田中地区担当理事の寺田です。２期目になります。初心忘れずの気持ちで務めたいと思います。

理事
倉澤 善七（くらさわ ぜんしち）
柏西地区
(新富・南柏班)

理事の就任は重責と思いますが、一つ一つ研鑽を積み上げながら進めて参ります。

理事
清水 四郎（しみず しろう）
高柳地区
(高柳班)

「初心忘れるべからず」現職時から常に自分に言い聞かせ、実践している言葉です。

理事
木下 好則（きのした よしのり）
柏東地区
(永楽台班)

会員の皆様と組織の更なる発展のために、微力ながら精一杯やらせていただきます。

理事
田口 幸子（たぐち さちこ）
田中地区
(若柴・十余二班)

皆様と一緒に、楽しくお仕事をして参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

理事
工藤 誠律（くどう とものり）
大井・大津ヶ丘地区
(手賀・風早班)

会員の皆様や事務局の方々が働きやすいセンターを目指して、最善を尽くす所存です。

理事
中島 美貴子（なかじま みきこ）
土地区
(南逆井班)

若輩者の為至らない所ばかりだと思いますが、若輩者の視点で頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。

理事
山口 秀明（やまぐち ひであき）

就業先の維持・拡大、インボイス制度等への的確な対応で、センター経営の安定化を図ります。

監事
持田 三郎（もちだ さぶろう）
柏西地区
(新富・南柏班)

コロナの終息状況の確認とインボイス制度導入による消費税の大幅増税。未来あるシルバー再構築の年

監事
赤泊 治（あかどまり おさむ）
光ヶ丘地区
(加賀班)

皆様に選任いただき、監事業務の何たるかを肝に銘じ、誠心誠意努める所存でございます。

● シルバーサロン開催

５月30日パレット柏にて「シルバーサロン」が開催されました。当日は、午後１時からの開催でしたが開場時間前から10人以上の方が並ぶほどの盛況ぶりでした。参加者のほとんどは、柏市の広報紙を見て参加された方が多く、日野会長と役職員９名で対応しました。来場者には、掲示板に張り出した資料を基にセンターの活動状況をご案内し、その後、個別の面談を行いました。

今回は、前回を上回る38人が来場し、その内16人が入会説明会への参加を希望されました。

シルバーサロンは、センターへの入会に繋がる最初の窓口となり、面談された方々には、当センターの内容をご理解いただく場所となっています。私達の仲間を増やしていきたいと思いますので、会員の皆様もぜひ知り合いの方にこのシルバーサロンの活動をお話いただき、センターのＰＲにご協力いただくようよろしくお願いします。

● シルバー学び隊「初めてのホームページ」の作り方

シルバー学び隊事業の「初めてのホームページ」の作り方講座が、５月10日から４回に亘って開催され、延16人の方が参加されました。

上田博憲会員が講師を務め、受講者のレベルもそれぞれ異なりましたが、熱心な質問にも分かりやすく回答し、受講者にあった指導をされていました。

講座の内容は、ホームページを作成する「基本編」とカレンダー等のウエブアプリを作成する「応用編」に分かれて実施されました。特に、イベント等の応募者人数を自動制御するアプリは、従来からの電話やメールによる対応からデジタル化の推進を図ることができます。

受講者は、自分のパソコンを持参し、熱心に参加されていました。受講された皆さんは、自宅や職場等で仲間達とパソコンを通じて交流されているようでしたので、今後、今回の講座がその交流にも役に立っていくのではと思われます。講座は聴くだけではなく、実践で繰り返しやってみることが重要であり、今後の活躍が望まれる有意義な講座でした。

●「振り込め詐欺撃退録音機設置作業説明会」開催　(4/28, 5/1)

柏市では増加している「振り込め詐欺」撲滅のため、80歳以上の方を対象に振り込め詐欺撃退録音機を無料で設置する取り組みをしています。センターでは市のこの事業の委託を受け機器の設置作業を請け負いました。

設置作業を行うに当たって会員全員対象に「ゆずりは」配布時に募集チラシの配布を行い4月28日と5月1日にその説明会を行いました。当日は柏警察署生活安全課からの詐欺被害の現状と注意点の話があり、その後事務局の高木さんが纏めた資料に基づく説明がありました。参加者31名の会員は熱心に説明を聞かれました。

設置作業は、複雑ではありませんが、時節柄高齢者のご自宅に訪問することは特に警戒をされます。シルバー人材センターの会員であること、柏市の委託事業で伺うことなどの説明と高齢者の気持ちに寄り添う丁重な応対、併せて最近の詐欺被害の現状説明と詐欺被害に遭わないための説明も大切です。対応される会員の方々の活躍を期待するとともに、会員皆さんも詐欺被害に遭わないことに注意しましょう。

シルバーの顔

高柳地区
（しいの木台班）
北島（きたじま） 浩司（こうじ）さん

● 現役時代と入会のきっかけ

九州熊本のご出身、取材でお目にかかった北島さんは白のミズノのハーフジャケットがよく似合い日焼けした顔でスポーツマンタイプの方でした。現役時代は大手の通信会社で主に責任者として海外を担当されていたとのこと。また、JICA青年海外協力隊員としても活躍、アフリカをはじめ世界中を訪れ、その国は36ヶ国にも及んだそうです。退職後、数年経って地域のコミュニティの役にも立ちたいとセミナーに行ったのが入会のきっかけだそうです。

● シルバーでの仕事

現在、近隣センターでの仕事をされています。加えて柏市から請け負った高齢者への「振り込め詐欺撃退録音機」の設置も先陣を切って頑張っておられます。

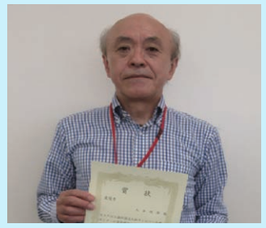
シルバーでは多業種の仕事をされている方が多く、入会以来、いろいろな方と知り合いになり、これからも仲間づくりを大切にしていきたいとおっしゃっていました。

● もう一つの顔

北島さんは現役時代の活躍に加え、青年海外協力隊OBとして協力隊のPR・啓蒙活動、開発途上国への協力隊員の派遣、グローバル人材の育成や日本の通信事業の発展と海外進出に貢献したとして２年前財団法人日本ITU協会（国際電気通信連合）から功績賞を受賞。一方、高校、大学、社会人でのラクビー選手の顔、個人的には写真、カラオケ、ドライブなどの多彩な趣味の顔、神社仏閣への探究心、ネパールに行ったときに行き損ねた世界遺産ルンビニ（お釈迦様が生まれた地）には是非行ってみたいなど夢も一杯の北島さんのもう一つの顔がありました。

令和５年度安全標語の表彰

４月21日に理事会の席上で、令和５年度安全標語の表彰式を執り行いました。



最優秀作に選ばれた
大金 瑞雄会員

優秀作品に選ばれた
工藤 誠律会員

安全だより

＝安全＋第一＝

事故発生状況報告

令和４年度は、傷害事故15件、賠償事故９件、計24件の事故が発生しました。

年齢を重ねると身体機能が変化します。ご自身の身体の変化に気付くことが事故防止、健康管理に繋がります。年１回健康診断を受診し、現在の身体の状態を確認するよう努めてください。

「健康診断書の提出」
就業会員は、健康診断を受けて、健康診断書のコピーを９月末までにセンターへ提出してください（就業規程第12条）。

ジョブコラム
JOB column

本を読むことが好きで、日常生活の一部になっています。特に、旅行・仕事で飛行機、列車を利用する時は、まとまった時間を過ごせるので、窓からの景色と本を忙しく行ったり来たりするほどです。最近私が読んで印象的な本をご紹介すると、「楽観的な」タイプと「悲観的な」タイプの人では、どちらがマシ（≠良いではありません）でしょうか。実は、現代の心理学者たちの見解では、「悲観的なほうがいい」そうです。理由は、悲観的な人は失敗を恐れますから、少なくともリスク回避する行動をとります。従って、失敗しないように事前に調査したりして、全てを失うリスクは低いとされています。ビジネス的には楽観的な人はギャンブラー思考な起業家、悲観的な人は投資家に適しているそうです。因みに、私は前章テストがあり、結果は真ん中でした。この歳で悲観的タイプと言われても正直気にはなりませんが。

また先日、飛行機で帰京する際、テレビでよく観る前大臣が近くの席に座りました。彼はフライト中終始、読書灯のもと専門書を読んでいました。彼は私より５才年上で、恐らく週末地元での支援者への挨拶廻りで疲れている体で、日曜夜の便で黙々と読書をする姿を見て、自身も気づかされました。

会員の皆様も、読書を通してだけではなく、他の方々の働く姿を見て、ご自分の生き方に何か気づきがあれば幸いです。益々ご健康で更なるご活躍をお祈りします。　【ジョブコーディネーター　矢島】

フレイル予防 Vol.3 「チェックと相談で安心生活を」

こんにちは。柏市地域包括支援課です。今号で私たちのお話は最終回です。前号では、脳の健康に大切なこととして、社会とのつながりを保つことが大切であり、それがフレイル予防につながることなどをお話ししました。今号では、早めに認知機能の低下に気づき、相談先を知るためのツールをご紹介します。

柏市ではこのたび、「かしわもの忘れチェックシート」を発行しました。第１回でもお話しましたが、認知症は誰もがかかる可能性がある身近な病気です。認知症は、早く気づき、対処することで進行が緩やかになる可能性があります。シートは、認知症早期発見の一助として、気軽に日頃の状態を振り返る内容となっています。具体的には、ご家族や周りの人が実施するチェックと、ご自身で実施するチェックの２種類が載っており、状況に応じて、いずれかを使用していただきます。シートは、近隣センターや地域包括支援センターなどで手にすることができます。また、パソコンやスマートフォンなどのインターネットから、柏市ホームページ内で「かしわもの忘れチェックサイト」を検索していただいても、同じ内容でチェックすることができます。ただし、かしわ物忘れチェックは、医学的判断をするものではありません。認知症は、医師による診断が必要です。

チェックの結果に関わらず、日常生活や、シルバー人材センターをはじめとするお仕事上で気になることが生じた際には、お近くの地域包括支援センターにご連絡ください。地域包括支援センターでは、医療や介護の専門職がご相談をお受けしています。

柏市地域包括支援課は、市民のみなさまがいつまでも安心して暮らせるよう、お手伝いを続けてまいります。

※スマートフォンより、右記の二次元バーコードを読み取ると、簡単にチェックリストにアクセスできます。

介護サポートサービス情報 5

「介護サポート」の就業会員の体験などをシリーズでお届けしています。皆さんの参考としていただければ幸いです。
（取材　女性部会役員）

内 仕事の内容　苦 苦労したこと　始 仕事を始めるのに不安だったこと　楽 楽しいと思うこと
慣 慣れるのに要した期間　続 就労期間、継続するためのポイント

体験

内 介護施設の入居者様（20人分）の夕食の配膳と翌朝のお漬物等の準備を１人で行っています。

苦 最初は調理もしていたので大変でしたが、現在は、調理されたものを温めるだけになりましたので、楽になりました。

始 自営業をしていたので、外で働くことが初めてで色々不安はありましたが、施設の方々の丁寧な説明で不安が取り除かれました。

楽 今は、仕事に行くことが楽しみになっています。施設の方々との会話も楽しいです。

慣 慣れてきてからは、自分なりに作業手順を決めて行っています。

続 11年目になりますが、仕事に行くことが楽しみになり、社会との繋がりを感じられます。人のためになっていると思える仕事なので、続けられているのかもしれませんね。

● 第33回SG会開催

５月15日、成田フェアフィールドゴルフクラブにて、初参加の２名を含め19名でコンペを開催した。このコースでの競技は連続５回目、柏から車で１時間程の距離、広大な丘陵に美しい光景、手頃な価格が好評だ。曇り雨で不安定との天気予報を気にしながら全員集合した。今回は、OUT２組、IN３組に分かれてのスタート、新緑の美しい木々や芝が広がるレイアウトの中、力いっぱいクラブを振り回した。午前は曇りの中で９ホールを終えた。ハプニングが起きたのはOUT７、IN16ホール目の頃、雨が強くなり、カート道は川のように水が流れ出し、バンカーは水が溜まり、遂にグリーン上は水面ができてしまった。第１組の幹事は、やむを得ず残り３ホールを残し中止の決断をした。OUT、INに分かれてスタートしたことで、各組１５ホールをプレーできたのが不幸中の幸い？入浴後は定例の表彰式。優勝を獲得したのは、「幹事で雨を気にしていた、パートナーに恵まれスコアがまとまった」と語った戸田直次会員。見事連続優勝。入賞や順位賞、ＢＧ、ＢＢ、ＤＣ、ＮＰ賞の表彰と、受賞者の喜びの声を聞いて終了。次回は10月16日の予定、元気で再会することを約束し閉会した。　寄稿　日野良英

柏ゆずりは会からのお知らせ

サマーパーティ、バス旅行、ボウリング大会など親睦行事について、高齢者は新型コロナ感染の重症化リスクが高く注意が必要とのことから、令和５年度も中止とします。今後の開催につきましては、感染状況を慎重に検討の上、ご案内いたします。

ゆずりは会　代表　坂内マサ子